

新陳代謝(シンチンタイシャ)陳は古いこと。

生物体が生存に必要な物質を体内に取り入れ、用済みとなった古い物質を体外に出す作用。

人面獣心(ジンメンジュウシン)人間の顔をしていても心は獣と同じだということで、恩や恥を知らぬ人間を言う。

森羅万象(シンラバンショウ)森羅は森の木の限りなくつらなること。万象の修飾語。象は形ある物の意。宇宙に存在するいっさいの万物という意味のことば。

醉生夢死(スイセイムシ)生まれて死ぬまでの間を、酒に酔い、夢見ごちですごすという意味。ただ生きているというだけで価値のない生き方を言う。

水天彷彿(スイテンハウフツ)彷彿はよく似

ていて見分けがつかぬこと。海の遠い沖と空とが続いて見分けがつかぬ様を言う。

寸善尺魔(スンゼンシャクマ)世の中には良い事が少なく、悪い事が多いことを言う。寸は尺の十分の一の長さ。一寸は約三センチメートル。

生殺与奪(セイサツヨダツ)生かすも殺すも与えるも奪うも自分の思いのままであること。例 生殺与奪の権をにぎる

青天白日(セイテンハクジツ)心にやましいところが全くないこと。また、無罪だと明らかになること。例 青天白日の身となる

清廉潔白(セイレンケツパク)廉は潔と同意で、いさぎよいこと。心が清らかで私欲がないことを言う。

是是非非(ゼゼヒヒ)是を是とし、非を非と

する態度。公平無私な態度を言う。

切磋琢磨(セツサタクマ)切る、^す磋る、^う琢つ、^{みが}磨くは宝玉を作り上げる手順。学問・道徳に励んで自己を完成することにたとえる。また仲間どうし互いに励まし合って向上することにも用いる。

切齒扼腕(セッシヤクワン)歯ぎしりをし、腕を握りしめて、ひどくやしがつたり怒ったりすること。

絶体絶命(ゼツタイゼツメイ)命はからだに宿るもの、絶体も絶命も同じ意。必死の状態に追いつめられること。“絶対絶命”ではないことに注意。

浅学菲才(センガクヒサイ)菲は薄の意。学問が浅く、才能が薄いこと。自己をへり下って言うときに用いる。